

シラバス

春季集中講座 グローバル関連科目の高校生へのオープン化

2017 年度	開講日時:平成 30 年 2 月 8 日、9 日、10 日 3 日間連続 計 15 回
	全日とも 1 限から 5 限までの通し、1 限開始は9:00、5 限終了は 17:50
場所	杏林大学 井の頭キャンパス E303教室

担当教員 楠家 重敏

科目 比較文化論Ⅱ－2

授業概要 西欧人の日本研究の諸問題を検討し、日本人の海外体験の問題を講義する。異文化に接した日本人と外国人がどのような比較文化論をのこしたかを考察する。

到達目標 到達目標:
日本と西洋の文化論を理解する。

授業形態は全て[講義・質疑応答で構成する。

第 1 回 ガイダンス

第 2 回 この国の呼び方(1)—倭

第 3 回 この国の呼び方(2)—日本

第 4 回 この国の呼び方(3)—Japan

第 5 回 西欧人の日本研究(1)—アジア進出と日本

第 6 回 西欧人の日本研究(2)—イエズス会の日本語研究

第 7 回 西欧人の日本研究(3)—「鎖国」時代のジャパノロジー

第 8 回 西欧人の日本研究(4)—開国と日本研究の再出発

授業計画 第 9 回 西欧人の日本研究(5)—イギリス公使館の日本研究

第 10 回 西欧人の日本研究(6)—日本アジア協会

第 11 回 西欧人の日本研究(7)—サトウ、アストン、チェンバレン

第 12 回 日本人の外国体験(1)—天正少年使節

第 13 回 日本人の外国体験(2)—江戸時代の漂流民

第 14 回 日本人の外国体験(3)—幕末明治の派遣使節

第 15 回 まとめ

課題に対するフィードバックの方法:

毎回授業のはじめに前回の課題についてフィードバックをおこなう。

シラバス

	第 1 回 外国人の日本研究と日本人の海外体験に関する書物を読む
	第 2 回 「倭」を調べる
	第 3 回 「日本」を調べる
	第 4 回 Japan を調べる
	第 5 回 西欧人のアジア進出を調べる
	第 6 回 イエズス会を調べる
授業外学習	第 7 回 「鎖国」を調べる
(予習・復習	第 8 回 開国を調べる
等)の具体的	第 9 回 イギリス公使館を調べる
内容	第 10 回 日本アジア協会を調べる
	第 11 回 サトウを調べる
	第 12 回 天正遣欧使節を調べる
	第 13 回 漂流民の意義を調べる
	第 14 回 海外留学生を調べる
	第 15 回 外国人の日本研究と日本人の海外体験をふりかえる
テキスト	なし
参考書	楠家重敏『日本アジア協会の研究』(日本図書刊行会)
成績評価の	レポート(80%)、平常点(20%)
方法・基準	
URL	
備考	